

2022 年度日本エネルギー学会 「進歩賞」を受賞 ～ボイラソリューション（見える化技術）～

日本エネルギー学会は、産・官・学等の連携のもと、「エネルギーに関する科学・技術の進歩発展を図り、もって我が国の産学の発展および国民生活の向上に貢献する」ことを目的に、エネルギーに関わる研究開発の成果、業績および最新情報の発信、ならびにエネルギー教育に重点を置いて活動している歴史ある学会です。

本進歩賞（技術部門）は、エネルギーに関する技術分野において技術開発または改良を行い、工業化の可能性のある独創的な成果を挙げた個人または団体に同学会から表彰されるものです。表彰式は 2023 年 2 月 28 日に東京都千代田区の学士会館で執り行われました。

今回、当社が受賞したのは、石炭や木質バイオマス等の燃焼・ガス化設備の伝熱管における灰付着や高温腐食に関するソリューション技術です。それらの事象によって、伝熱効率やプラント稼働率の低下が引き起こされることがあるため、その対策や現状把握、予測に関する技術開発は、経済・環境上の重要な課題となっています。この課題に対し、受賞技術は実機およびラボベースにおける分析・評価を組み合わせ、ブラックボックス化されているプラント内部の現象（灰付着・高温腐食）を見える化するもので、ボイラソリューションとして展開しております。

本技術は様々な顧客に採用されつつあり、国内で 30 件以上の実績を有しています（燃料添加剤などの定量評価など）。また、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）プロジェクトなどでも活用されており、今後のエネルギー利用に関する研究開発や産業界への貢献度は高いものと期待されています。

※参考 （一社）日本エネルギー学会 2022 年度学会表彰受賞者一覧

<https://www.jie.or.jp/publics/index/728/>